

		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
4	蒸しタオル、湯たんぽ、ホットパックは罨法として使用しないことを知っている				89.0	77.2
5	蒸しタオルを清拭に使用時は清拭用のカゴと、カゴ用のフックを用いている					86.4
6	ルート類を固定しているテープをはがす際にスキントラブル発生が多いことを知っている					98.6
7	患者の状態に応じたテープの選択、ルート固定の方法、テープをはがす際の工夫を先輩スタッフに相談することができる					94.5
B. 褥瘡発生を予防できる						
1	褥瘡の分類とその状態について知っている				94.6	46.9
2	褥瘡好発部位を知っており、観察と効果的な徐圧、減圧が基本であることを知っている					90.5
3	褥瘡予防には、体位変換、徐圧・減圧の他、スキンケアや栄養の整えが大切であることが理解し実践できる				98.6	73.5
4	患者、家族に対しても褥瘡予防対策についての指導ができる				72.9	36.8
5	「北里大学病院における褥瘡管理体制」に従って行動できる				76.6	24.1
6	褥瘡ケア時の苦痛緩和にむけて、患者へ声かけができる				82.2	55.5
7	褥瘡アセスメントが正確に記載できる				82.8	35.2

《多重課題・時間切迫編》

III. 多重課題、時間切迫の状況下で安全にケアが提供できる

(多重課題：一度に二つ以上の仕事をしなければならない状況)

文末が「知っている」→0⇒1：知らない 1⇒2：聞いたことがある ~~2：だいたい知っている~~ 3：知っている
 文末が「できる」→ 0：未経験 1：できない 2：指導があればできる 3：一人でできる

		0ヶ月	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年
A. 事故がおこりやすい状況について知っている						
1	多重課題や時間切迫の状況は事故をおこしやすいことを知っている					99.3
2	優先順位の判断を誤ると事故が起こる可能性が高くなることを知っている					99.3
3	過緊張により間違いが起こり易いことを知っている					98.0
4	優先順位は生命や安全の保持のほかにも、看護師としての倫理的判断能力が問われることを知っている					92.5
B. 安全を守るための基本的態度を習得している						
1	自分の能力の限界が認識できる				99.3	75.3
2	わからないこと、できないことが自己申告できる					92.5
3	多重課題が発生し、優先順位がわからないときには先輩看護師に相談できる					91.8
4	自分ができないと判断したことは他の看護師に依頼することができる					93.2
5	優先順位の判断により、自分が直ちにケアの実施が行えない患者・家族や、診療の補助を行えない医師に対し説明ができる				91.7	68.1
6	仕事の経過状況をリーダーナースに報告できる					89.0
7	ヒヤリ・ハットを起こしたら速やかに報告ができる					96.6
C. 判断を適切に行いケアが提供できる						
1	業務の開始時にケアのスケジュールが立てられる					88.4
2	自分の現在行っている行為がどの段階(準備・実施・終了・観察)にあるか認識できる					91.8
3	できるだけ今行っている行為は、準備から終了まで中断せずに行える					84.9
4	ケアの実施中に多重課題・時間切迫で中断されたときにも、自分がケアのどの段階を行っているか認識し、安全に中断できる				97.3	73.3
5	もし、ケアが中断されても、安全に中断された段階からケアが終了できる					80.7